

ふうあい おたより

2020
vol.29

↓解除された夜ノ森駅前商店街通り
宅地などはゲートが張られたまま



↑富岡町夜ノ森駅東口(建て替え後)



contents	
つながるココロ	2
ふるさとレシピ	3
茨城県内の避難受入状況	4
よろず相談コーナー	5
震災10年企画	6
ふくしまフォトアルバム	8

ふくしまフォト アルバム



↑南相馬市磐城太田駅近くのお肉屋さん



↑懐かしの今野畜産特大メンチカツ



←南相馬市原町区太田神社



↑南相馬市磐城太田駅

ご支援いただける方へ

「ふうあいねっと」の活動・運営は、趣旨に賛同して頂ける皆さまからのご支援・ご協力を必要としています。ご寄付いただいた場合は、別途、電話やメールにて、連絡先をお伝えいただけると幸いです。

入金先

一般社団法人ふうあいねっと

ゆうちょ銀行 [記号]00260-7 [番号]141628

※他金融機関から振込する場合は
[店名(店番)]〇二九(ゼロニキウ)店
[口座番号]0141628

常陽銀行 末広町支店 普通 [口座番号]1657135

入金先が変わりました!

ふうあいねっとでは、書き損じハガキを集めています!

おたよりチーム 阿部香織 天井優志 石田貴博 M.I 大里千恵子
小野田真澄 きさらぎ 北澤安芸 小林真由美 原口弥生 みさびー

編集後記

ステイホーム、新しい生活様式と今年度はこれまでとちがう生活となっていますね。わが家では休校中の子どもたちに水廻りのちょこっと掃除に協力してもらいました。みなさんはおうちでどんな時間を過ごされましたか。(みさびー)

発行元・お問い合わせ先

一般社団法人ふうあいねっと

会員募集中!

〒310-0056

茨城県水戸市文京2-1-1 茨城大学教育学部A413

TEL・FAX.029-233-1370 E-mail:fuai.sta@gmail.com

事務局携帯 TEL.070-3182-4044

震災と原発事故により福島県などから茨城県に避難されている方々をサポートするためのネットワーク組織です。

ホームページが新しくなりました!

<https://www.fuainet.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/fuainet/>



令和2年度福島県外避難者への相談・交流・説明会事業

印刷/富士オフセット印刷株式会社 <http://www.fuji-offset.co.jp>

ふうあい おたより vol.29

今回の表紙イラスト

art POCKET lab. 倉田 彩さん

夏休みに、おばあちゃんちの縁側で食べたスイカと夏のおい。ほんわかと懐かしい気持ちになっていただけたら嬉しいです。



10年目の節目を迎えて

震災対応派遣教員 山本 ひとし 仁土さん(棚倉町出身)

今年度、震災対応派遣教員として茨城県に派遣されました山本仁土と申します。昨年度同様、茨城県への対応派遣教員は私のみですが、少しでも皆様に寄り添うことができるよう、努めてまいります。

昨年度までは、いわき市～白河市を中心に中学校で勤務をしてきました。茨城県は地理的にも身近に感じていましたが「ところ変われば…」というように、住みだしてみると知らないことばかりです。当然、県外へ転居された皆さんは、より多くの不安を抱えながら現在に至っていると思います。あの大地震から9年が過ぎ、10年目の節目を迎える今年度。残念ながら、現在は「新型コロナウイルス」の影響により、児童生徒も日常生活をおくることができ

ておらず、登校すらできていません。時期的な背景もあり、あの震災時期と重なってしまいます。当時は、福島県では登校ができないままに4月がスタートした学校が多々ありました。「今できること!」当時の想いを改めて痛感しています。

震災から10年が経とうとする今年度、転居先での生活に新たな悩みや不安は出てきていませんか。お子様の教育相談(生活・学習の悩み)について、進路相談(転入・転学先等)など、教育情報等でお困りのことがございましたらご相談ください。福島県・茨城県、「ふうあいねっと」と相互に連携を図りながら、皆さんのお役に立てるよう努めますので、お気軽に連絡をいただきたいと思います。

水戸市立見川中学校 TEL.029-241-2309 (月・火・水・金)
水戸市総合教育研究所 TEL.029-244-6730 (木/9:00~17:00)

皆様の声をお聞かせください

4月より福島県復興支援員となりました西連寺です。茨城に来られた皆様に早くお会いしたいと思います。新型コロナの収束までは名簿でお会いしている状況です。メール、電話、ライン等で連絡を取れるようになれば嬉しく思います。宜しく願い致します。

(西連寺 京子/好きな食べ物:チーズケーキと柑橘類)

今年度から復興支援員をさせて頂く三上と申します。厳しい社会情勢ですが、お話を聞かせて頂くなど何らかの形で皆様のお役に立てたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

(三上 陽子/好きな食べ物:じゃがりこを食べながらビール)

復興支援員2年目です。昨年、戸別訪問でお会いした皆さま、その節はお世話になりました。現在、コロナ影響下で訪問を自粛しておりますが、再開の際は、健康のこと、趣味のこと、日頃の思いなど、ぜひお聞かせ下さい。(魚津 真喜子/好きな食べ物:干し芋、特に丸干し)

福島県避難者支援課の奥山と申します。昨年度より引き続き、福島県の駐在職員として茨城県で仕事をしています。避難先での生活に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでの日常とは異なる生活が続いているなかで、さまざまな不安を抱えている方も多いかと思っております。駐在職員として、福島県復興支援員の方々や「ふうあいねっと」を始めとした支援者の皆様と連携することによって、少しでも皆様の一助になりたいと思っております。できれば皆様と直接お話ししてお話を伺いたいと思うのですが、難しい状況が続くかもしれませんので、何かお困りのことがありましたら、下記の連絡先までお気軽にご相談ください。(奥山昂平/好きな食べ物:喜多方らーめんと干し芋)

福島県復興支援員



左から 西連寺、三上、魚津

福島県避難者支援課茨城県駐在



鮭そぼろのちらし寿司



材料



鮭水煮缶 ……1缶(180g)
砂糖 …… 大さじ2
醤油 …… 大さじ2
みりん …… 大さじ2

作り方



- 鍋に、鮭水煮缶の中身を汁ごと入れ、調味料と合わせて軽くほぐす。(菜箸を数本使うとほぐしやすい)
- 鍋を中火にかけ、菜箸で身をしっかりほぐす。煮立ったら弱火にして、焦がさないように混ぜながら汁気が無くなるまで煮詰める。
- 干し椎茸の戻し汁に、人参、干し椎茸、油揚げの千切りを入れ、砂糖・醤油・みりんを味付けをし、すし飯(2合分)に混ぜ合わせて皿に盛る。その上に鮭そぼろを乗せ、紅生姜、薄焼き卵の千切り、刻み海苔、茹でて斜め切りにしたインゲンを散らす。



エピソード

母が作るちらし寿司にはいつもこの鮭そぼろが散らしてありました。

自分でも料理をするようになりちらし寿司の時は、桜でんぶの方が色どりがきれいでした。おいしいのにも関わらず、それでも母と同じくこの鮭そぼろをいつも作ってきました。甘じょっぱい素朴なこのそぼろは子供の頃からの懐かしい母の味です。

東日本大震災と原発事故により、2011年3月から埼玉県加須市で避難所生活を送り、台所で料理することのない、それまでの日常から離れた半年間を過ごしました。

その年の秋にようやくアパートを借り少し

生活が落ち着いた頃、関東に嫁いだ旧友たちや埼玉県に暮らす叔父叔母たちがそれぞれに訪ねて来てくれました。その頃は、まだまだ思うようなおもてなしはできませんでしたが、私はやけに大きな鍋に鮭の水煮缶を入れてそぼろを作り、みんなでちらし寿司を食べました。

お客さんが来たらそぼろを作ってちらし寿司というのが我が家の定番でした。

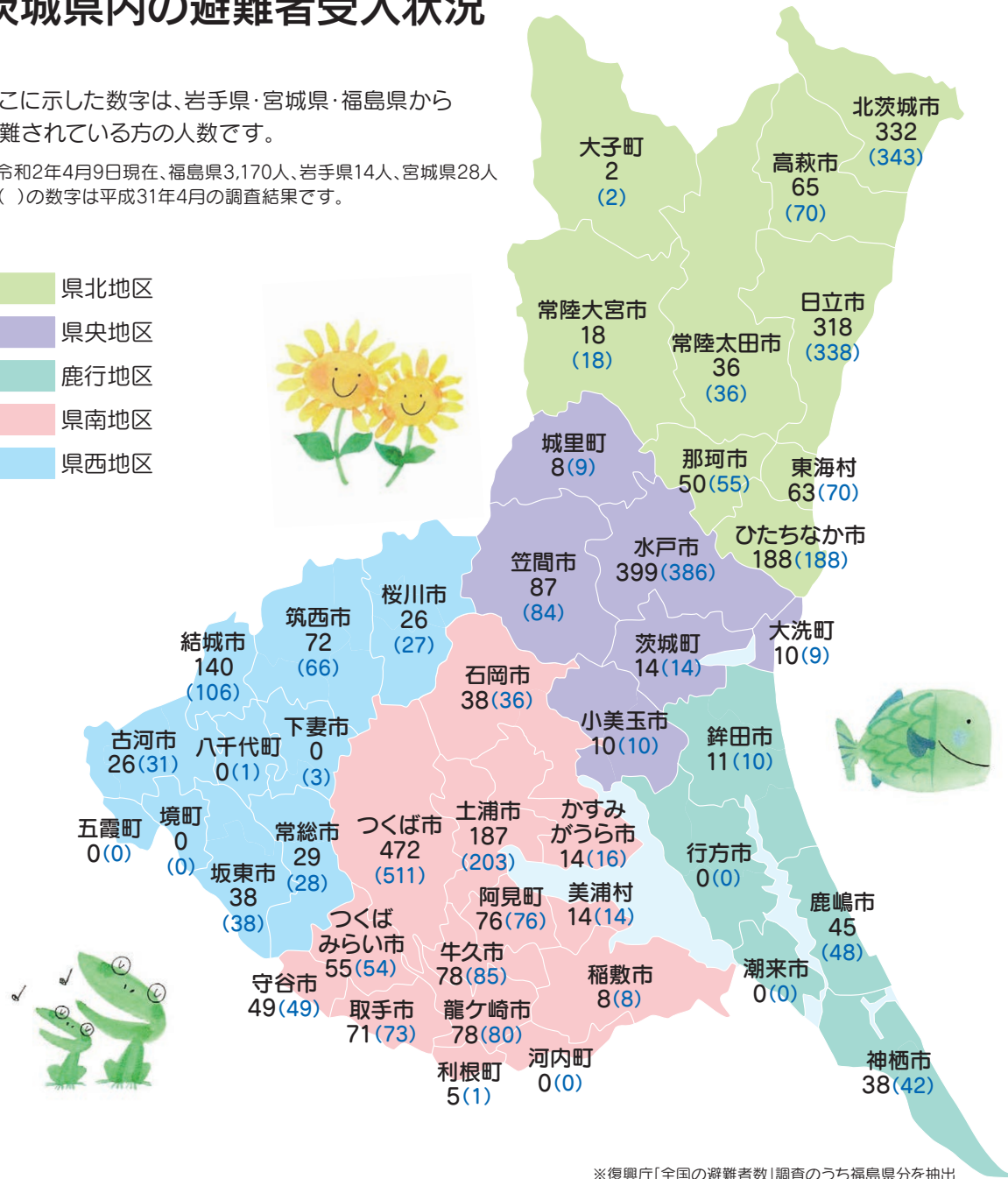
今、母はいわき市の特別養護老人ホームに居ます。2月初旬に会ったとき、コロナウイルスの影響で面会ができません。会いに行くまで元気でいてね、と願いながら今回、母の鮭そぼろを作りました。

茨城県内の避難者受入状況

ここに示した数字は、岩手県・宮城県・福島県から避難されている方の人数です。

※令和2年4月9日現在、福島県3,170人、岩手県14人、宮城県28人
()の数字は平成31年4月の調査結果です。

- 県北地区
- 県央地区
- 鹿行地区
- 県南地区
- 県西地区



※復興庁「全国の避難者数」調査のうち福島県分を抽出

パルシステム茨城 栃木は、福島第一原発事故により被害に遭われた皆様に“忘れない”を合言葉に支援し続けます。



生活協同組合パルシステム茨城 栃木
本部/〒310-0022 水戸市梅香 2-1-39 TEL : 029-227-2225
https://www.palsystem-ibaraki.coop/



ともに はぐくむ くらしと未来

いばらきコープは、組合員から寄せられた募金等を活用して「福島子ども保養プロジェクト」(通称:コヨット)など、福島の方々を支援する取り組みをすすめています。



茨城県小美玉市西郷地1703 電話(代表)0299-48-3243
http://ibaraki.coopnet.or.jp/

よろず相談コーナー

~ふうあいねっとより~

新型コロナウイルス感染の広がりを受けて、震災9周年記念イベントは残念ながら延期となりました。現在ふうあいねっと事務局はテレワークでの業務継続を行っています。交流会のお誘いはもう少し先になりそうですが、皆様にお会いできる日を楽しみにしています。お困りごとや、気持ちの落ち込みなどが感じられる時はお電話ください。ご相談がなくてもお声をきかせていただくと嬉しいです。

ホームページ・facebook活用してみてください!

ふうあいねっとの活動の様子やさまざまな支援情報を発信しています。
http://www.fuainet.com/

(外出自粛の中お電話でご連絡がとれた方から、お元気なお声を聞かせていただきました! お忙しいところありがとうございました。)

よろず相談受付中! お気軽にご連絡ください。相談日:毎週火・水・木曜日(9:30~16:30)
TEL.070-3182-4044 Eメール fuai.soudan@gmail.com (北澤・ニッ森)

食の支援

新型コロナウイルスにより仕事の稼働時間の減少や、パート、アルバイトそのものが無くなってしまったなどの声が聞かれます。ふうあいねっとはフードバンク茨城と連携して、ささやかですが白米や食料品などを必要な方にお届けします。新型コロナウイルスでお仕事やアルバイトに影響がでた方は、ふうあいねっとまでお問い合わせください。



お届けできるもの(例) 白米、食料品、レトルト食品、缶詰、菓子など

ふうあいねっと事務局 TEL.029-233-1370 Eメール fuai.soudan@gmail.com

こころのケア

感染流行や行動制限が続くと、こころに疲れがたまりやすくなります。不調が続く場合は、無理をせずホットライン等に相談してみてください。

いばらきこころのホットライン

(年末年始、祝祭日を除く 9:00~12:00/13:00~16:00)

TEL.029-244-0556(月~金曜日) ☎0120-236-556(土・日 フリーダイヤル)



よりそいホットライン

(24時間、メールやFAXでも対応)

☎0120-279-338



歩みの軌跡…良いと思う道を

来年3月で震災から10年。
3回のおたよりを通して、2011年からをふりかえります。
合言葉は、「良いと思う道を歩いていく」。
今回は、初期に事務局をフル回転させていた天井さんの登場です。

ふうあいねっとへの一言、
お待ちしております。

私たちの活動を振り返りつ
つ、課題を整理するため冊子
『歩みの軌跡』を制作します。
皆さんからの一言もぜひ掲載
できたらと思っています。

2011年

	避難指示・賠償関係	茨城県内の状況・活動
3月	福島第一原発から半径20キロ圏内に避難指示	生協関係者が、茨城からいわき市への食糧支援
	福島県から各都道府県に避難者受入れ要請	少年自然の家(水戸)、洞峰公園体育館・国際会議場(つくば)、霞ヶ浦総合体育館(土浦)などで受入れ開始
4月	文科省、校舎・校庭利用の年間20mSv基準を発表	県内避難者は1419人。うち茨城居住者が577人、福島県から842人(1日)
	厚生省が、被災地外の住宅もみなし仮設住宅と認める通知。赤十字社が家電6点セットの配布を決定。	福島から小・中・高519人の児童生徒の受け入れ(28日)
	総務省が「全国避難者情報システム」を設置	東京電力が取手で損害賠償の仮払いについて説明会。県内初(27日)
	半径20km圏内の「警戒区域」その周辺の「計画的避難区域」「緊急時避難準備区域」の指定	国や県は、つくば市の国家公務員宿舎501戸を仮設住宅として準備
6月	「特定避難勧奨地点」設定	NPOコモンズ、いわき市にスタッフを派遣
8月	原発避難者特例法の成立	茨城県内で借上げ住宅の開始(各市町村別に開始時期にズレ)
	原子力損害賠償紛争審査会(以後、原賠審)の中間指針	
9月	「緊急時避難準備区域」解除	
12月	野田首相、原発事故の「収束宣言」	損害賠償説明会@茨城大
	政府が避難指示区域の再編を発表	
	原賠審で自主避難の指針	

2012年

	避難指示・賠償関係	茨城県内の状況・活動
1月		NPOコモンズを中心に物資配布会@日立
2月		NPOコモンズを中心に物資配布会@つくば
4月	避難指示区域の再編(「避難指示解除準備区域」「居住制限区域」「帰還困難区域」)	
5月		「避難者・支援者ネットワーク ふうあいねっと」結成。事務局はNPOコモンズ。
6月		「子ども被災者支援法」成立
11月	福島県がみなし仮設住宅の県外の新規提供停止を発表	
12月	野田政権(民国連立)退陣して政権交代。第2次安倍内閣(自公連立)発足	

当時の振り返りと近況報告

ふうあいねっと広報担当
天井 優志さん



ご無沙汰しています、2012~14年までふうあいねっとで事務局をしていました天井です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

僕は幼少期を南相馬市で過ごした後、岩手県、宮城県などを経て水戸市で育った人間です。震災・原発事故の後には仕事の合間に家の周りや大洗町などで復旧や撤去に関わった後、いわき市への支援を開始していた茨城NPOセンター・コモンズのいわき市駐在職員に。いわき市内の津波被災・相双地区から市内に避難をされた方々とやりとりしながら必要に感じたサポートに取り組みました。

2011年秋頃に「福島から茨城に避難をされた方へのサポートしてほしい」という福島県職員の方々から団体

に打診があり、2012年1、2月に日立とつくばで生活物資配付会を開催。参加された1000人を超える方々の声から、集う機会づくりや情報をお届けする必要性を感じ、個人や団体、専門機関の協力者を募り12年5月に「ふうあいねっと」を立ち上げることになりました。各地域でのお茶会や説明会の企画や法律等の解説コラムをまとめた「ふうあいおたより」の発行も始まります。茨城県内の市町村にひとつひとつ協力をお願いし、郵送していただけるようになりました。その後もメンバーが変わりながらも継続しています。

現在はふうあいねっとのネット上の広報を担当しながら、日立市で事業再開した「マルイ装美」(双葉町で清掃業20年の会社)の職員として掃除や片付けを通して、暮らしの応援ができればと日々過ごしています。

